

石川県口腔インプラント研究会・第3回・特別講演会のご案内

平成22年度・石川県口腔インプラント研究会第3回特別講演会を開催します。今回の演者は、ドイツの若手口腔外科医の第一人者をお招きしました。ドイツにおけるインプラント事情や最新インプラント治療についてご講演を頂きます。今回は、IIRGの学術部が行った会員アンケートを参考にして、Dr. Stephan Beuer にお願ひして講演内容をリクエストしたところ快く承諾をして頂けました。ご期待を。 石川県口腔インプラント研究会 会長 永井 豊

Dr. Stephan Beuer (M.Sc) ドイツにおける最新インプラント治療について



1977 : Year of Birth in Bavaria/Germany

1997 – 2003: Dental School in Regensburg/Germany

2006: Dissertation in Periodontology at University of Regensburg in Cooperation
with Prof. Dr. Michael Christgau

2009: Master of Science (M.Sc.), postgraduate Education in Krems/Austria
2006: Specialist in Implantology (DGI)

2010: Founder of „Praxisklinik Münchnerau“ (Clinics for oral surgery) in
Landshut/Germany

【Dr. Beuer 講演要約】

インプラント手術を行う口腔外科医として最も重要なのは、手術時間を短縮し長期の安定性を確保することです。同時に、患者の審美的要求に応えるため、口腔の自然な状態の再建、つまり硬組織および軟組織の再建が必要とされます。今回の講演では、硬組織および軟組織のオグメンテーション、特にブロック骨のオグメンテーションや、口腔外科領域におけるCAD/CAMテクノロジーとトンネルテクニックのコンビネーションによる新しい可能性などについて紹介させていただきます。さらに、サイナスリフト、ボーンスプリット、遊離歯肉と結合組織を使用したグラフトについても臨床例を交えて解説致します。また、インプラント周囲炎は現在、また将来においても大きな問題となる可能性があります。それゆえに我々は、この種の問題を避けるため、治療コンセプトを発展させる必要があります。本日は、私が普段治療のオプションとして行っている様々な技法について概説致します。

日時 : 平成22年 11月 7日(日) 10:00 ~ 16:30

会場 : 石川県地場産業振興センター 本館1階 第7研修室

受講料 : IIRG・TOIA会員 2000円、非会員歯科医師 7000円、Co-Dental Staff 2000円 (昼食代を含む)

定員 : 100名 (先着順で、定員になり次第締め切ります。)

受講申込み最終日: 平成22年11月2日(火)必着

お申込み・お問い合わせ: IIRG事務局 「なおき歯科クリニック」

e-mail: naoki-dental@way.ocn.ne.jp を使用するか、FAX:0767 (23) 4615 にてご連絡下さい。

ご案内: 12月12日は、富山県口腔インプラント研究会との合同研修会です。それぞれの会員が日頃の臨床研究の成果を発表します。今期は石川県が当番県ですので多数の参加をお願いします。

11/7 IIRG 特別講演会

(✓)をお付け下さい。

・()石川県会員 ・()富山県会員 ・()非会員 : IIRGに()入会する ()しない

ご氏名 (1) (Dr. / Staff) 医院名
(2) (Dr. / Staff) ご住所
(3) (Dr. / Staff) TEL

【申込書】 切り取らずに、このページのままFAXして下さい

